

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

モデル校名 山形県東置賜郡高島町立第三中学校

○学校の概要（平成15年4月現在）

高島町立第三中学校						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	1	7	17
生徒数	69	59	68	2	198	

○「総合的な学習の時間」実施上の課題

総合的な学習の時間の全体計画が作成されていなかったこともあり、ねらいや内容に対するの共通理解や学年行事等との違いが明確でなかった。また、学年裁量による部分が多く、学年相互の関連や積み上げが弱かった。

○研究主題に対する受け止めと目標設定

当地区は、有機農業においては全国的にも先駆的な実践地域であるなど、環境に関してだいぶ以前から配慮してきた地域である。また、本校の実習畑では地域の方の指導をいただくなどいろいろな形で地域人材との連携も密である。そのようなことから、今回の研究主題は本校にとっては願ってもないものであり、これまで本校が実施してきたことに自信を持って目標を設定してきたところである。

○取り組みについての成果と課題

<成果>

- ・1学年では、郷土の歴史を調べオリジナルの演劇を上演することで地域に目を向け、更に調べてみようとする関心を喚起することができた。同時に食をテーマに体験学習を実施した。
- ・2年では、農作物の栽培と収穫までの農作業及び豆腐作りなどの加工実習に意欲的に取り組むことができたし、修学旅行の事前学習では、インターネット等の利用によりオリジナルの班別研修コースの計画を立てることができた。
- ・3年では、上級学校調べや職場体験学習、文集作りなど生徒が興味を持てる内容であったし、生徒一人一人の進み具合を把握しやすかった。
- ・教科の授業ではできないような体験学習・見学等を通して、感想を記録・蓄積することで、生徒の視野が広くなり考える視点が多岐に渡るようになってきた。
- ・各学年ともインターネットを使って調べたり、コンピュータでまとめ発表したりすることによって、コンピュータの技能と表現力が高まった。

<課題>

- ・各学年とも年度始めに学習計画を作成し、ほぼ計画通りに実施できたが、活動ごとの実践の積み上げや、学習活動が相互に関連付けられていたかどうかの確認が必要であった。
- ・課題やテーマ設定の段階で、生徒の自発的な取り組みをもっと促すような工夫が必要であった。
- ・総合を通して生徒につけたい力、高めたい力を計画やねらいと共にもっと具体的にする必要があったし、評価の項目や規準についても共通理解を図る必要があった。

○平成16年度に取り組む視点

- ・各学年の内容を相互に関連付けて積み上げが図られるよう、全体計画を作成し、それに基づいて内容を設定・実施する。
- ・各学年の「総合的な学習の時間」の中に、必ず環境に関する学習を位置付けて実施するとともに、小学校や地域人材との連携を可能な限り図る。

総合的な学習の時間「ゆうきとの対話」全体計画

高島町立第三中学校

学校教育目標

- 心豊かにたくましく、人間として生き抜く力を育む。
- (1) 豊かな感性を育み、進んで社会に貢献する意欲を育てる。
 - (2) 工夫と創造をこらし、自ら課題解決に挑戦し、主体的に学習する態度を培う。
 - (3) たくましい気力と体力の向上に努力する態度を育てる。

総合的な学習の時間で育てたい力

- ・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
- ・各教科等で身に付けた知識や技術等を関連付け、それらを学習や生活において生かし、総合的に働くことができるようにする。

高島町の環境学習

- ・体験を通して町の自然や生活環境に目を向け、課題意識をもたせる。
- ・環境にやさしいライフスタイルを実践する態度を養う。

各学年の「総合的な学習の時間」の目標

1年 高島町という私たちの住んでいる地域の自然や歴史、文化、食農などについて課題を持ち、聞き取り学習・調べ学習や体験活動などさまざまな方法で主体的に解決する力や態度を育てる。

2年 調査・保全に関する学習活動を通して、地域環境を守ろうとする意識を高めるとともに、生産、加工、流通、消費に関する学習を通して経済の仕組みを学び、調べ、まとめ、発表できる力を育てる。

3年 地元の事業所(職場)を体験して働く人々の姿に触れることによって、自己の進路や生き方について考え目標の実現に向けて努力する生徒を育てる。

各学年のテーマと領域(内容)

地域学習を通して疑問や課題を見つけ、追求する態度を養う。

- ・地域学習
- ・有機農法学習
- ・地域の農産物調査など

農園活動を通して、食農・環境分野での学習を推進する。

- ・水質調査
- ・農作業体験、農産物加工体験
- ・農産物の流通・販売の学習など

地域の「人」に触れ、自己の進路や生き方を考える。

- ・地域学習
- ・食農学習
- ・職場体験学習など

小中連携の具体的視点

- ・教員による交流授業の実施
- ・地域行事(ゆうきの里祭り)での交流
- ・三中校区懇談会の実施
- ・児童生徒理解に基づく継続的な指導・支援